

平成 30 年 1 月 9 日

皆さん、明けましておめでとうございます。

平成 30 年の歳がスタートしました。

皆さんいかがですか？ 今年の目標は明確になっているでしょうか？

決意を新たに、フレッシュな気持ちでこの日を迎えてくれていることと思います。

さて、新年のスタート、3 学期を始めるに当たって、3 点伝えたいことがあります。

1 点目は「視点を変えて、立場を置き換えて考えられること」を大切にしたいということなのです。

昨日 1 月 8 日の成人の日、枚方市からお招きをいただき、長尾中学校で行われた「枚方市成人祭『はたちのつどい』」に出席しました。

本校では 41 期生が新成人になるわけですが、たくさんの新成人の方々が参加されていました。

その式典の中で、最後に「新成人のことば」として、新成人代表の方が壇上で新成人としての抱負、思いを次のように述べられました。

「これまでは、多くの人に支えてもらってきたが、今後は誰かを支えてあげられる存在になりたい」というものでした。

私はこのお話を聞いていて、支えてもらっていたという受身の自分から、これからは自分のほうから相手を支えてあげられるようにと、与える側へと視点を変えて考えることができおられるな、と感じました。

「視点を変えて考えられること」「立場を置き換えて考えられること」というのは、我々にとっても大切なことだと思います。

皆さんも自分に当てはめて、「これまでは〇〇であったが、これからは〇〇になるような存在になりたい」と考えてみてください。

一つだけ例をあげます。1 年生は 4 月から 2 年生。新入生が入ってきて先輩という存在になります。先輩としてこれからはどのような存在になりたいと思いますか？

そのためには「何を」「どのように」しなければならないかを考えてみてください。

そうした見方や考え方ができれば、目の前の世界がきっと変わっていくものだと思います。

2 点目、ものの見方や考え方の一つとして伝えたい言葉があります。

それは「VW」。すなわち「ビジョンとワークハード」です。

この言葉は、2012年（平成24年）にiPS細胞の研究・開発の成果により、ノーベル生理学・医学賞を受賞された、医学者の山中伸弥さんが、生涯のモットーとして大切にされているものです。

「ビジョンとワークハード」、要するに、ビジョン、即ち、目標や将来の希望、本当の目的を明確に持ってワークハード、一生懸命に頑張ること、これら両方が大切で、どちらが欠けてもダメだということです。

山中伸弥さんは、31歳の頃に整形外科医から研究者に方向転換され、アメリカに渡り、サンフランシスコのグラッドストーン研究所で研究を始められました。

当時、その研究所の所長であったロバート・マーレー先生との出会いの中で、山中先生はロバート所長に「君のビジョンは何だ？」と尋ねられます。

その時、山中先生は「いい論文を書くため」とか「いい職につきたいから」と答えたところ「それはビジョンじゃない。ゴールだ。本当のビジョンは何だ？ どうして医者をやめてアメリカに来たんだ？」と言われて初めて、自分が研究者になったのは論文を書くためではなかったんだと思い出されたそうです。

そして、実は「今治す方法のない脊髄損傷のような患者さんを何とかして治したい」ということがご自身のビジョンであったことを思い出されたというのです。

それ以来、山中先生はこの言葉とともに自分のビジョンを忘れないよう心がけておられるそうです。

今、頑張らなければならないことを一生懸命に頑張ることは大切です。

もちろん進級や卒業、入学や入社を目標や目的に頑張ることも大切なことです。

さらに、新年のスタート、3学期を始めるに当たって、「VW」、「ビジョンとワークハード」という言葉から、ビジョン、自分が描く将来の希望や目標、こんなことがしたい、してあげたい、なりたいと思う、本当の目的について考えて欲しいと思います。

最後に、3年生、残り少ない高校生活を大切にしてください。そして、自身の将来ビジョンの実現に向けて進み続けてください。そうすればこの3年間皆さんが歩んでこられた足跡は、より誇り高く輝くものになるはずですよ。

特に、3月まで挑戦し続ける皆さん、風邪やインフルエンザには充分気をつけ、これまでの努力の成果を遺憾なく発揮し、全力を尽くしてください。

2年生、近々進路調査があると聞いています。皆さん自身の将来ビジョンを具体化していく絶好の機会ですよ。

1年生も将来ビジョンを描けるよう、自分の将来や進路について考える機会を逃さず、しっかりと考えてください。

そして、2年生も1年生も、日々の学校生活、授業や課題に向かう姿勢、家庭等での学習の習慣を確立するよう、決意を持って取り組んでください。

皆さんの決意に満ちた行動、活躍を心から期待しています。